

# 第36回 沖縄県中学校新人ダブルスバドミントン選手権大会

## I. 本大会運営規定

- (1) 1日目は、男子は玉城体育館、女子是那覇市民体育館で行います。  
2日目は、男女ともに玉城体育館で行います。
- (2) トーナメント方式で行う。
- (3) 1日目の進行は、男子4回戦(試合番号137)、女子は4回戦(試合番号486)まで行います。  
(ただし、1日目の最終コールは6:00頃を予定する。)  
2日目の進行は、決勝まで及び、表彰式・閉会式を行う。
- (4) 男子はすべて正式ルール、女子は6回戦(試合番号534)まで15点(上限20点)3ゲームマッチで行う。その後、決勝戦で21点(上限30点)3ゲームマッチの正式ルールで行う。
- (5) インターバルは、正式ルールでは、11点で1分以内、ゲーム間に2分以内でとることができる。15点ゲームでは、ゲーム間に2分以内でとることができる。  
(※主審は、インターバルをタイマーできちんと計測すること)
- (6) 連続試合は15分以上の間隔を空ける。
- (7) 主審は敗者審判で行う。本部より審判用紙をコートへ持って行くので敗者はコートから離れず審判席で待機すること。また、線審及び得点係は各対戦校から1名ずつ出すこと。
- (8) 朝のメインアリーナ及びサブコートでの練習は認めない。
- (9) 試合のコール後、3分以内にコートに入らない場合は、棄権とみなすこともある。
- (10) 試合中の汗拭きは、原則としてインターバル時しか認めない。
- (11) 水分補給は原則としてインターバル時しか認めない。また、スクイズボトルを使用すること。
- (12) ベンチ入りは、選手・監督・マネージャー又はコーチとする。コーチは教員又は県中体連の登録者とする。これ以外の者の1階メインアリーナでの応援を禁止する。サブコートでの応援は壁側で行うこと。
- (13) 監督、コーチまたはマネージャー席を設ける。チェンジエンドの際、監督、コーチまたはマネージャーも移動すること。
- (14) ゲーム中の監督、コーチのアドバイスをラリー中でなければ認める。ただし、試合の遅延行為に成らないようにすること。また、相手選手が萎縮するようなアドバイスであってはいけない。選手はアドバイスを受けることができない。
- (15) インターバル時には、アドバイスを受けることができる。ただし、ゲーム間及び3ゲーム目の11点でのアドバイスはチェンジエンドをしてから受けること。
- (16) インプレイ中の応援はベンチ・応援団ともに認めない。
- (17) メインアリーナ1階フロアーへは招集されてから入場すること。尚、那覇市民体育館アリーナの入り口は舞台側、出口は14コート後ろ側からとする。
- (18) 競技ウェアは、日本バドミントン協会審査合格品(但し、ハーフパンツ着用の場合は、膝にかからないもの)とする。
- (19) スパッツはパンツまたはスコートからはみ出さないように着けること。
- (20) ソックスは、くるぶしが隠れるものを履くこと。
- (21) ゼッケンは上着の背面中央部に右図のような規格で学校名、姓を  
黒または濃紺色の楷書で明記すること。同姓の選手がいる場合は、

○○○中
姓名

  
名前の頭文字を記すこと。ゼッケンの無い者は没収試合とする。  
紙のゼッケンは認めない。
- (22) はちまき、ヘアバンド、リストバンド、サポーター、テーピングは認めるが、ブレスレット・ネックレス等の装飾品(スポーツ用品等も含む)及び、マスコット等を身につけてのプレーは認めない。
- (23) 中学生としてふさわしくない身なり(まゆ等)・服装及び、行為をしたものは、協議の上没収試合とすることもある。

## II. 注意事項

- (1) 事故防止及び試合進行をスムーズに行うため、アリーナ及び通路、玄関ロビー、空コートでの練習は認めない。
- (2) 体育館シューズで外に出ないこと。
- (3) 昼食時間は設けないので、各自で試合の進行をみながら取ること。
- (4) ゴミは必ず持ち帰ること。なお、ゴミ袋は本部でも準備します。
- (5) 応援席での飲み物、食べ物の片付けを徹底すること。(こぼしたものの拭き取りなど)
- (6) 貴重品やラケット等のバドミントン用品の管理は各学校及び、各自で徹底してください。

## III. その他

県強化選手選考会を兼ねる。尚、選考され、強化選手に同意した選手は、月1回の小・中・高・一般の県合同強化練習に参加すること。

※ 本大会運営規定(3)、(4)の           については、参加状況に応じて変化します。大会当日の監督会にて連絡いたしますので、ご了承下さい。